



平成 30 年 5 月 8 日
佐賀大学理工学部

SSH 事業「リサーチセミナー」を致遠館高校で実施

【概要】

SSH 事業に関わる「リサーチセミナー」が致遠館高校で開催され、電気電子工学科の和久屋寛准教授が「人工知能を取り巻く過去・現在・未来について ～2018 年春に考える～」と題して、簡単な学科紹介のほか、これまでの研究成果などを披露しました。

【本文】

平成 30 年 4 月 21 日に、佐賀県立致遠館高等学校においてスーパーサイエンスハイスクール事業（SSH 事業）に関わる今年度第 1 回の「リサーチセミナー」が開催されました。対象は、理数科に在籍する 1 年生（120 名）でした。

まずは、簡単な学科紹介を行い、その中で、一緒に参加した研究室所属の卒研究生 2 名（遠岳君、福田さん）から、大学で学ぶことの意義や進路選択に対する考え方について、現役大学生の視点から話してもらいました。

引き続き、これまでの「ICT 防災デザイン」に関わる取り組みについて、鹿島市肥前浜宿をモデル地区とした緊急時の避難経路探索を中心に披露しました。過去 3 年間にわたる研究成果を 1 年ごとに分けて時系列で紹介したため、研究を進めるに当たっては、一歩ずつ着実に問題解決していくことの重要性を理解してもらえたのではないかと思います。

さらに、人工知能に関連する最近の話題として、ミニ四駆 AI 大会の様子や、肥前さが幕末維新博覧会で佐賀城本丸歴史館に展示中の品々（アンドロイド・万年時計・電信機）、佐賀大学が地元 ICT 企業と一緒に取り組んでいる事例（AI 就職活動支援サービス、無人 AI 店舗）など、コメントを交えて紹介しました。



リサーチセミナーの様子